

問題編

変更箇所	旧（3年後期）	新（4年前期）
p 46 No. 1	フランスのエコール・マテルネルでは、 <u>3歳から就学までの子どもたちのほぼ100%が、無償で全日制的保育を受けている。</u>	フランスのエコール・マテルネルは、 <u>慈善事業の精神で開設・運営されてきた託児所が、1881年の制度改革により、公教育制度に組み込まれ、教育省の管轄下に置かれたもの（幼児学校）である。</u>

解答編

変更箇所	旧（3年後期）	新（4年前期）
p 40 No. 2	…なお、設問文の記述の <u>ように</u> 「障害児」を定義している法律はない。	…なお、設問文の記述の <u>とおりに</u> 「障害児」を定義している法律はない。
p 46 No. 1	フランスのエコール・マテルネル（ <u>幼児学校</u> ）では、 <u>3歳から就学までの子どもたちのほぼ100%（自治体により2歳児も20～30%程度）が、無償で全日制（原則8時間）の保育を受けている。</u>	フランスのエコール・マテルネルは、 <u>慈善事業の精神で開設・運営されてきた託児所が、1881年の制度改革により、公教育制度に組み込まれ、教育省の管轄下に置かれたもの（幼児学校）である。</u> なお、フランスでは、 <u>2019年に義務教育の開始年齢が6歳から3歳に引き下げられ、義務教育は3～16歳の13年となった。</u>